

第2期石巻市教育振興基本計画案に対するパブリック・コメント結果

No.	項目	意見	石巻市の考え方
1	第4章 施策目標1 基本施策1 教育環境の充実と学校施設整備の充実 ●ICT環境の充実  施策目標2 基本施策4 現代社会に対応した教育の推進 ●国際理解教育・外国語教育の充実	<p>全国有数の高速インターネット環境を活かし、ビデオ会議等で世界に繋がるよう姉妹都市チビタベッキア市と交流して外国語教育の一環としつつ、地域等関連情報活用のためにICTを活用(例:マップ等での相手校の位置ピン、たどり着くまでの時間など)。小学校:興味レベル+プログラム改造 中学校:実社会に活かすデータ処理(総務省データベース活用等、防災情報を含む)</p>	<p>本計画は、今後5年間の本市の教育理念や各施策の方向性について定めた計画であり、具体的な取組内容については、今後策定する実施計画の中で検討していくこととしております。</p> <p>いただいた御意見は、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。</p>
2	第4章 施策目標2 基本施策4 現代社会に対応した教育の推進 ●国際理解教育・外国語教育の充実 ●キャリア教育の推進	<p>石巻専修大学では、経営学部情報マネジメント学科が創設され、実学に近い研究もテーマになっているようである。また、早くから海外に工場を設けて国際的な事業モデルを展開している企業や、水産業では海外から研究者が訪れている。このような方々に協力を依頼し、その企業や大学が人生の目標となるような魅力とその活動内容を示していただけると好循環になる。</p>	<p>本計画は、今後5年間の本市の教育理念や各施策の方向性について定めた計画であり、具体的な取組内容については、今後策定する実施計画の中で検討していくこととしております。</p> <p>いただいた御意見は、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。</p>
3	第2章 石巻市の教育の現状と課題 (2)心の教育について	<p>「人が困っているときは進んで助けていますか」という質問に対して、肯定的な回答の割合は、中学校に上がると減少しており、小学校にいて地域社会連携と地域の魅力を十分に感じられていない子供達が多い現状は、実学教育で少しずつ変えていく。例えば、①漫画を活かしてホームページや街の装飾をよくするには、②オイスターを活かして世界で有名にするには、③石ノ森萬画館のように文化を伝える活動の運営を盛り立てるには、④雄勝の石がなぜ書道家に好まれるかの研究、など可能性を総合学習に取り入れることで、社会に出たい、そのために身に学びたいという気持ちを少しでも向上させていけることだろう。</p>	<p>御意見を参考に、今後も、総合的な学習の時間等を通して、身近な地域や石巻市の良さについて学習し、郷土愛を育めるよう引き続き取組を進めてまいります。</p>

No.	項目	意見	石巻市の考え方
4	その他	<p>住んでいる地区には子供のいる若い世代の家族が多く、活気にあふれている。この地区に多くいる子供たちは、これからの石巻を、宮城を、そして日本を担う。その子供たちに、この地域の活気に見合う十分な社会活動や文化の刺激を与えて、明るい未来を見せられているだろうか。例えば、学校と市役所支所、企業が協力し、空いたスペースで情報マネジメント等ICTに関わるイベントを企画運営し、大学の協力を得て学生に講師をお願いするなどして、子供が楽しめるイベントができないだろうか。また、図書館機能も子ども図書館だけは支所へ移管するなど、子供がたくさん新しい情報に触れる機会を設けられないだろうか。</p>	<p>子どもたちが地域の中で多くの人と関わりながら健やかに成長していけるよう、学校・家庭・地域の連携・協働を推進するとともに、読書や文化に親しめる環境づくりに努めてまいります。また、市の事業とも連携し、学ぶ機会の充実に取り組んでまいります。</p>